

城と史蹟を歩く会第8回『湯島、本郷を歩く』ご案内資料

<日時> 平成13年12月6日(木曜日) 10時ころ～16時ころ

<主要行程> 八幡宿8時10分乗車 — 蘇我8時41分(京葉快速④番線快速)東京 — 御徒町 — 湯島天神 — 隣祥院 — 岩崎邸 — 三四郎池(昼食) — 東大キャンパス — 加賀前田家赤門 — かねやす — 本郷3丁目駅前(都バス移動) 神田明神 — 湯島聖堂 — ニコライ堂 — 大久保彦左衛門邸跡 — 御茶の水碑 — JR御茶の水(総武中央線)千葉 — 八幡宿18時ころ

山岸弘明

1) はじめに (地名のいわれ)

- ①湯島=武蔵野の末端で小川が入り組んで島のような。温泉が沸き出したとも。
- ②本郷=元は湯島の一部でその中心地。
- ③神田=かつて伊勢神宮の神領、神田。
- ④駿河台=徳川家康没後、駿府に仕えた旗本が召返されて邸地を受けた。いま明治大学の代名詞。

2) 彰義隊上野戦争官軍本営跡

- ①上野広小路=旧下谷広小路。広小路は明暦の大火以降、江戸の繁華街に作られた防火のための火除け地。寛永寺正面、将軍家の御成り道。歴代将軍、諸大名行列が威儀を正して通った。
- ②慶応4年1月、鳥羽伏見の戦いに敗れた徳川慶喜は恭順のため上野寛永寺に謹慎、警護を称した彰義隊が慶喜の水戸隠退後も居座って、江戸に進軍した官軍に抵抗した。5月15日早晩、上野寛永寺に籠もる彰義隊討伐のため大村益次郎、西郷隆盛ら官軍主力隊が広小路に布陣。砲7門を持ち込むが狭くうち4門を据える。官軍本営は松坂屋2階、中央突破をめざした黒門の攻防がはじまる。はじめ小銃白兵戦、決死の彰義隊は本陣近くまで切り込んで戦いは正午まで互角、しかし総合力に優る官軍のアームストロング砲が威力を発揮しだして均衡を破る。薩摩勢は黒門を突破、彰義隊は総崩れとなって寛永寺は火の海と化した。
- ③井上高岡藩1万石上屋敷跡=江東区上野3の一部、松坂屋黒門別館一帯。市原の犬成村、小田部村など14か村を領有した。

3) 黒門町と天神下

- ①旧黒門町=寛永寺門前町。黒門前に由来。伝統ある町名だが、黒門小学校に名跡を残す。
- ②湯島と天神下=地下に千代田線湯島駅。50m先の交差点は天神下。男坂、女坂周辺は古い町並み。久保田万太郎も住んだ。

4) 湯島天神

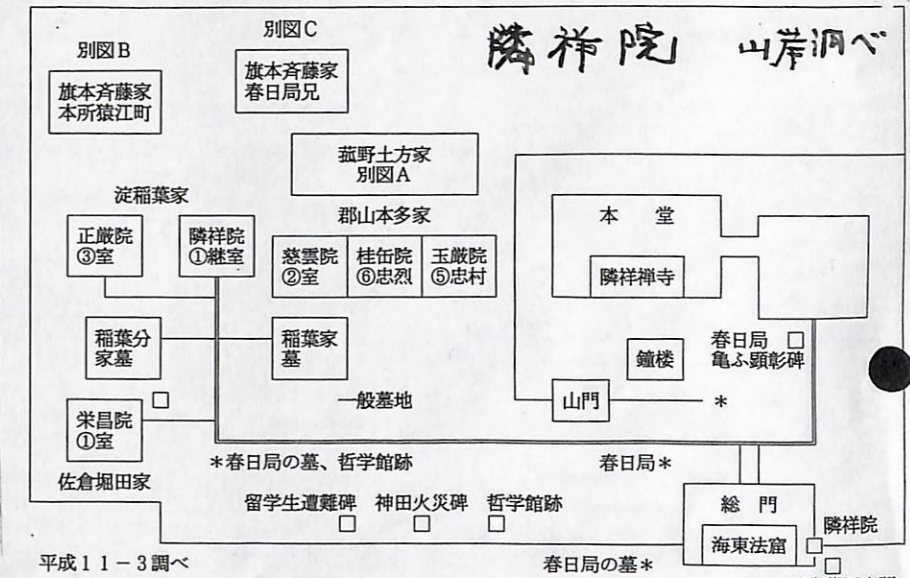
- ①太田道権、徳川家康ゆかりの江戸草分け神社。祭神は菅原道真。江戸時代は谷中感応寺、目黒不動とならぶ江戸3富で賑わう。
- ②ガス灯と新派記念碑、泉鏡花筆塚=新派で大ヒットした泉鏡花「婦(おんな)系図」の舞台。「別れる切れるは芸者のときという言葉……」。早瀬主税とお蔭が恩師の反対で仲を割かれる別れの場有名。新派碑に水谷八重子。鏡花筆塚には愛用の筆墨数本が埋められている。
- ③奇縁水人石=嘉永3年建造の迷子さがし石。尋ねる人は人相特徴を書いて貼り知っている人はどこそこと応えた。盛り場に置かれたが一石橋、浅草寺にも残る。
- ④銅製鳥居=寛文6年造営。脚部の唐獅子が珍しい。



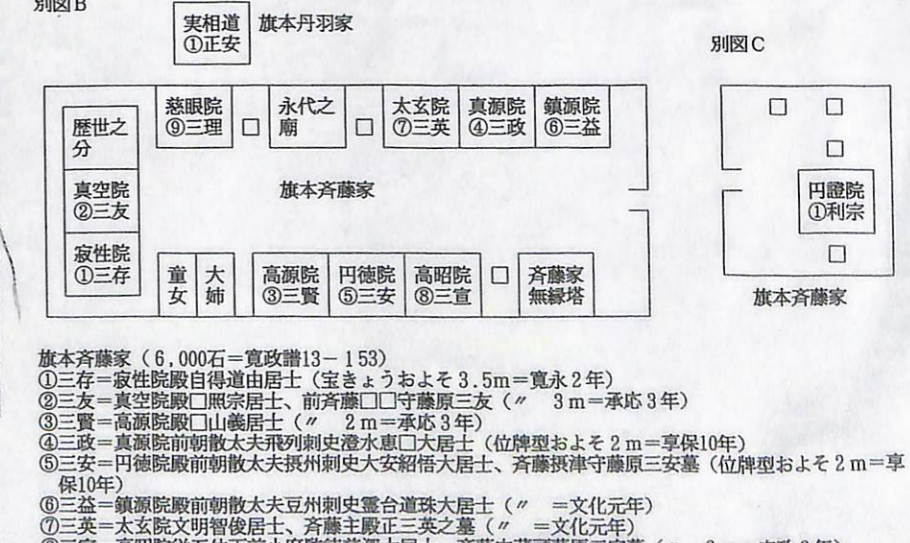
- 6) 隣祥院
 - ①3代将軍家光の乳母、春日局創建。家光の将軍就任に貢献、絶大な敬愛を受けて大奥に権勢を振るった。春日町の講道館近くに屋敷があり、前のバス通りを春日通りという。斎藤内蔵助利三の墓
 - ②春日局の墓=卵塔の四方に穴が貫通、死後も政道を正すといわれる。
 - ③春日局一族、淀稲葉正則室、正則娘佐倉堀田正俊室、兄斎藤家の墓
- 7) 三菱財閥旧岩崎家住宅 (上野リオゼン)
 - ①徳川四天王榊原康政邸跡=天正18年徳川家康江戸入りするとき奥州街道の抑えに拝領、榊原家歴代の江戸上屋敷
 - ②旧岩崎邸=英人建築家コンドル設計。明治29年建造の洋風レンガ建造物。国の重要文化財。



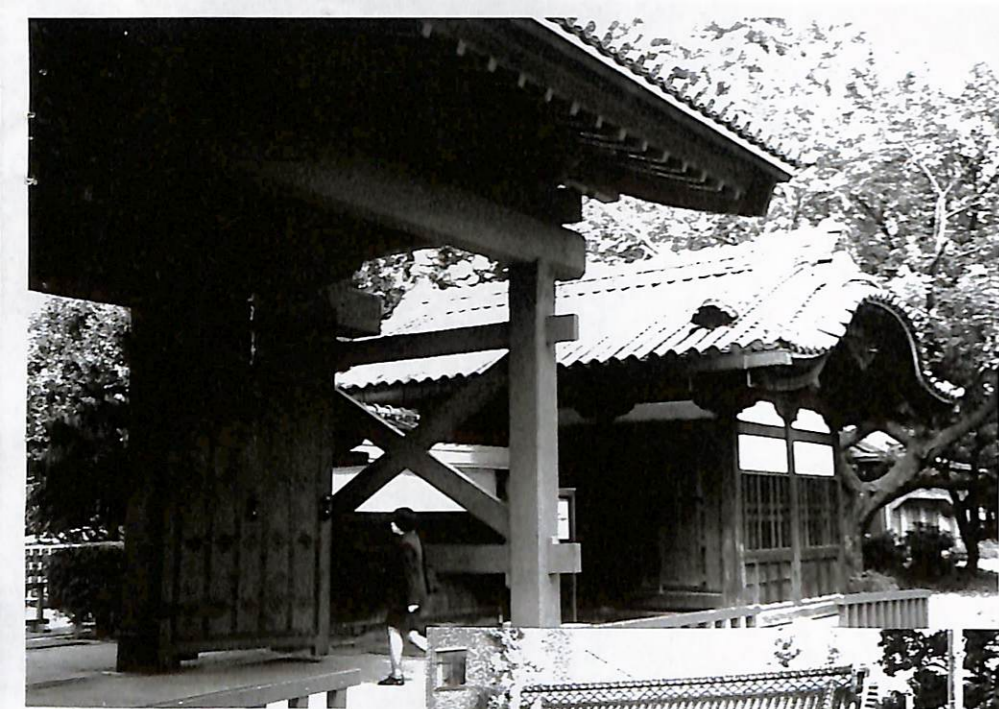
隣祥院 下は春日局の墓



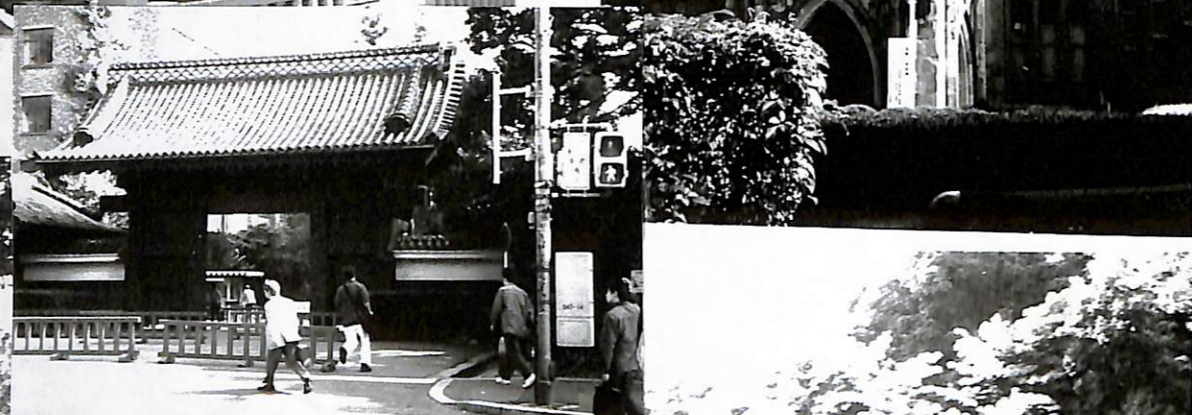
- 別図A
- 寛裕院 ①雄嘉
 - 雲松院 ⑨室
 - 瑤台院 ⑩室
 - 見龍院 ⑩雄興
 - 童子口
 - 永現院 ⑥雄端
 - 大岑院 ⑤雄房
 - 童子口
 - 安昌院
 - 龍光院 ⑦室
 - 榮壽院 ⑥室
- 別図B
- 實相道 ①正安
 - 歴世之分
 - 真空院 ②三友
 - 寂性院 ①三存
 - 慈眼院 ⑨三理
 - 永代之廟
 - 太玄院 ⑦三英
 - 真源院 ④三政
 - 鎮源院 ⑥三益
 - 旗本斎藤家
 - 童女
 - 大姉
 - 高源院 ③三賢
 - 円徳院 ⑤三安
 - 高昭院 ⑧三宣
 - 斎藤家 無縁塔
- 別図C
- 旗本斎藤家 春日局兄
 - 菰野土方家 別図A
 - 郡山本多家
 - 本堂
 - 隣祥院
 - 鐘樓
 - 春日局 龜ふ頭彰碑
 - 山門
 - 春日局の墓、哲学館跡
 - 春日局*
 - 総門
 - 海東法窟
 - 隣祥院
 - 許軍酒山門
- 主要墓碑
- ①正成継室斎藤利三娘福(家光乳母・春日局) = 隣祥院殿仁淵了義尼大姉(石壇上卵塔およそ3m=寛永20年)
 - ②正則室毛利氏万菊子=無名(石壇上宝塔およそ3m) 佐倉堀田家
 - ③正俊室福正則娘=榮昌院殿善陰隆尼大姉、從四位下侍從兼美濃守稲葉氏越智正則女、從四位下左近衛少將兼筑前守堀田氏紀正俊室(石壇上長形およそ2m=正徳4年)
 - 郡山本多家
 - ④忠平室池田光政娘=慈雲院殿覺音性海尼大姉(長形およそ2m=元禄10年)
 - ⑤忠村=玉峯院殿靈光智照大童子(〃=享保7年)
 - ⑥忠烈=桂岳院殿清貞自香大居士(〃=享保8年)
 - 菰野土方家
 - ⑦雄嘉=通口院殿從五位下前東市令玄峰峰順大居士(宝きょうおよそ3m=宝永2年)
 - ⑧雄房=大岑院殿前但州刺史從五位下賢徳養浩大居士(笠塔婆およそ2.5m=宝暦8年)
 - ⑨雄端=永現院殿前備州刺史從五位下仁英紹劫大居士(五輪塔およそ2.5m=宝暦8年)
 - ⑩雄年=意徳院殿前江州刺史從五位下利山玄貞大居士(〃=寛政7年)
 - ⑪雄苗=靈光院殿前豆州京兆尹從五位下一耀自照大居士(〃=弘化2年)
 - ⑫雄興=見龍院殿前殿中監從五位下口徳同忠大居士(〃=天保9年)
 - ⑬雄嘉=寛裕院殿前京兆尹從五位下天然自得大居士(〃=安政5年)



- 旗本斎藤家(6,000石=寛政譜13-153)
- ①三存=寂性院殿自得道由居士(宝きょうおよそ3.5m=寛永2年)
 - ②三友=真空院殿照宗居士、前斎藤口守藤原三友(〃3m=承応3年)
 - ③三賢=高源院殿山義居士(〃2m=承応3年)
 - ④三政=真源院前朝散大夫飛列刺史澄水惠口大居士(位牌型およそ2m=享保10年)
 - ⑤三安=円徳院殿前朝散大夫撰州刺史大安紹悟大居士、斎藤撰津守藤原三安墓(位牌型およそ2m=享保10年)
 - ⑥三益=鎮源院殿前朝散大夫豆州刺史靈台道珠大居士(〃=文化元年)
 - ⑦三英=太玄院文明智俊居士、斎藤主殿正三英之墓(〃=文化元年)
 - ⑧三宣=高昭院從五位下前小府監徳深大居士、斎藤内蔵頭藤原三宣墓(〃2m=安政3年)
 - ⑨三理夫妻=慈眼院殿寿山三理日悟大居士ほか、斎藤家9代三理、享年62(傘塔婆およそ2m) 旗本斎藤家



↑赤門→



東大キャンパス



三四郎池

8) 三四郎池 (山の上会館付近で昼食)

- ①加賀前田100万石上屋敷跡=大阪の陣後の元和元年、3代利常が秀忠から拝領。はじめ下屋敷。寛永3年家光御成りの内命を受け、御成り御殿、庭園を造営。外様大名として幕府に誠意を示すため3年間に渡って国元から職人や領民を動員、家作、庭園は華美を究めた。天和3年上屋敷と改称、以後歴代藩主居住。敷地面積103,822坪。初期は御成御門、御成書院、上段の間、能舞台など。
- ②幕末図は表御殿、奥御殿、馬場、表門、大御門(赤門)、庭園など。
- ③三四郎池(育徳園心字池)=家光の御成りに作られた池泉回遊式庭園。江戸大名庭園第1と称された名園だが、夏目漱石の名作「三四郎」で小川三四郎と里見美弥子との出会いに使われたことから三四郎池と呼ばれるようになった。池水は湧き水。ほぼ原型のまま残されている。
- ④石垣跡

前田下屋敷

9) 東京大学キャンパス

日本最高峰の国立大学を裏口から入る。ポプラ並木と安田講堂、テレビの風景を横目に、帰りは堂々と正門から「東大を出る」。

10) 前田加賀藩御守殿門(赤門)

- ①文政10年、11代将軍家斉の娘溶姫が前田家13代齊泰に嫁入りしたときの御守殿門。御守殿は将軍の娘が従三位以上に嫁したときだけに作られる姫君用住宅とその門。朱は慶事を表し正門の黒門に対する赤門。
- ②家斉に1妻、22側室、54子女。迷惑な押しつけ女房。大勢の女中が従い、門警護に火消加賀篤も。
- ③薬医門形式。独立した唐破風両番所は国持大名の権威を示している。カーブの美しさ、棟瓦の葵紋、軒瓦の前田家梅鉢紋に注目。国の重要文化財。

- 1) 本郷薬師、真光寺跡 3周1棟主柱未柱
寛文10年真光寺境内に立てられた薬師堂。「薬師の縁日は本郷の花」と賑わったが、昭和20年、東京空襲で焼失。昭和53年再建。
- 2) 別れの橋跡、見送り坂と見返り坂
江戸を追放された犯罪者が家族と涙で別れた橋跡。両側の坂は江戸側が見送り坂で、郊外を見返り坂と言った。
- 13) かねやす
①かねやす=江戸時代の歯磨き粉店。享保年間、兼康祐悦という口中(歯科)医師が乳香散という歯磨き粉を売ったところ繁盛、祭りのように客が集まったという。
②本郷もかねやすまでは江戸の内。火事の多い江戸で、享保15年の大火後、大岡越前守が本郷3丁目から南をカキガラ葺きにすることを命じた。この結果、かねやすまでは土蔵造りなど江戸の町並が続いたが、本郷の先はカヤ葺きや板葺きの家だったという当時の町並みをうたっている。



←本郷薬師
別れの橋跡↑
←かねやす
銭形早次とハゲ守→
↓↓初田明神



大久保彦左之内邸跡跡



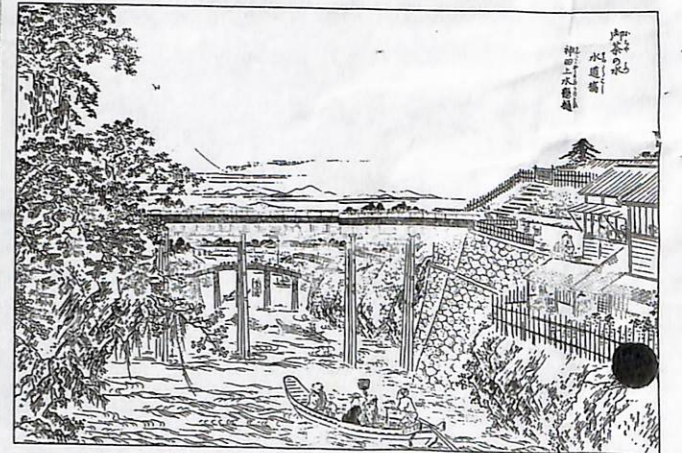
大久保彦左衛門 (一五六) 永徳二年
 ○徳川家譜代の大久保忠貞の八男に生まれた。名は忠雄、のち忠教。通称平助。彦左衛門。天正四年(一五七六)兄忠世と共に遠江乾の戦いに一七歳で初陣し、以後、高天神城攻め、信濃佐久・上田攻撃などに戦功を立て、兄忠世の嫡子忠隣の所領内に二〇〇石を領したが慶長十九年(一六四四)忠隣改易の際、三河国に一〇〇石を与えられた。大坂の陣では槍奉行を勤め、寛永九年(一六三三)旗奉行となり翌年一〇〇石の加増をうけ、計二〇〇石を領した。寛永十八年、八〇歳で没した。家康・秀忠・家光の三代に仕えた。戦国生き残りの旗本という誇りと自負は彦左衛門の著「三河物語」にかがえ、民衆の人気を集めた。ただし逸話のいくつかは、後世に作られたものである。



↑ 御茶の水碑



← 外堀 御茶の水



14) 本郷3丁目駅前から神田明神まで3区間をバス移動 (15分間隔=乗車時200円)

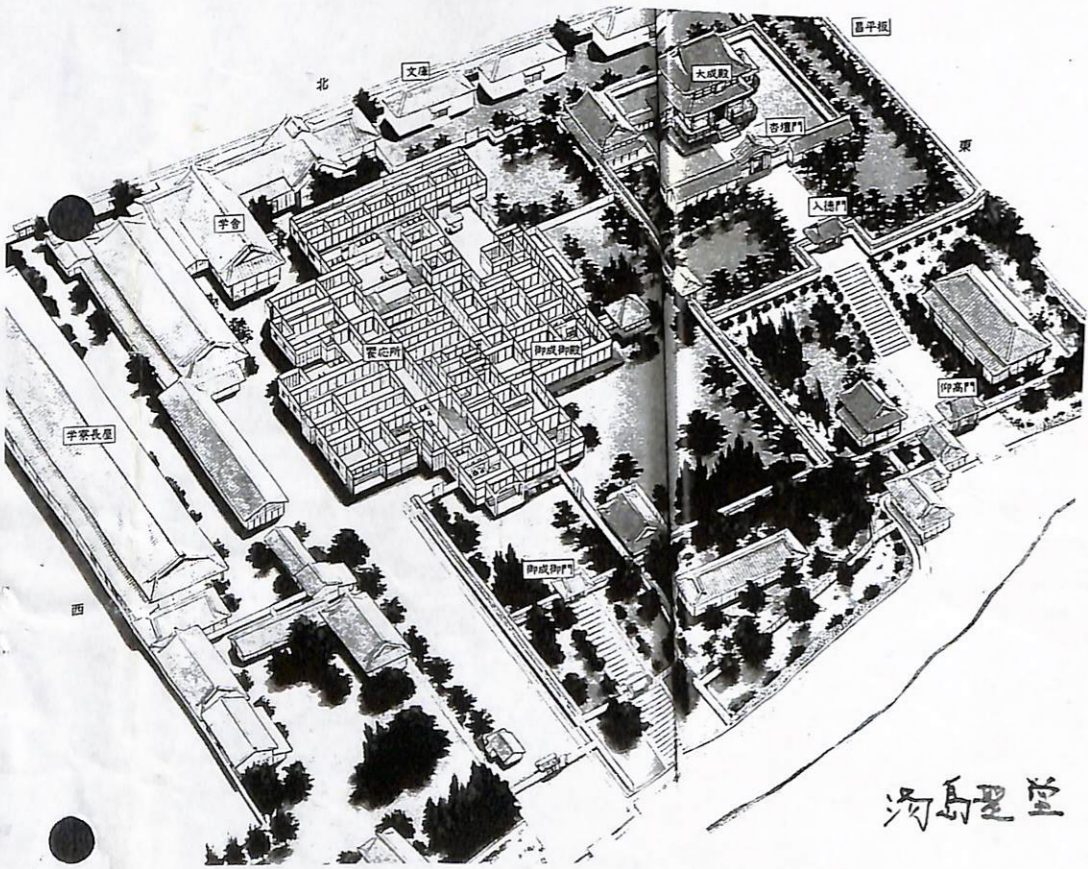
13:59, 14:15, 35, 37, 15:09

15) 神田明神

- ①太田道権の氏神で徳川時代は江戸の総鎮守。はじめ大手町に創建。駿河台をへて現在地へ。
- ②天下祭=将軍家の崇敬厚く、日枝神社と隔年の2大祭り。行列が江戸城内に入り将軍が上覧した。
- ③権現造り社殿=昭和9年建造。随神門=51年竣工。ともにきらびやかで豪壮。結婚式も。
- ④明神下銭形平次と八の碑。架空の人。作者野村胡堂の友人が明神下に住んでいたからという。

16) 湯島聖堂

- ①元禄年間創設の官制儒学校。儒学は家康以来徳川家の精神的支柱であったが、学問に造詣深い綱吉は林羅山を大学頭に任じ上野林邸にあった孔子廟を現在地に移転した。綱吉自らも講義を行ない前後13回にわたって参詣した。
- ②孔氏を祀る大成院は関東大震災の復元だが入徳門は現存。東京医科歯科大学は御成御殿、昌平こう跡。東京大学、筑波大学の前身でもある。



湯島聖堂



17) 聖(ひじり)橋

江戸時代はない橋。昭和3年架橋のモダン橋、聖堂とニコライ堂を結ぶ聖橋と名づけられた。

18) ニコライ堂

- ①明治24年ロシア大主教ニコライ建造。ハリストス正教会教団復活大聖堂。
- ②コンドル設計のビザンチン風。円蓋のドームと響く鐘の音が異国情緒を伝える。

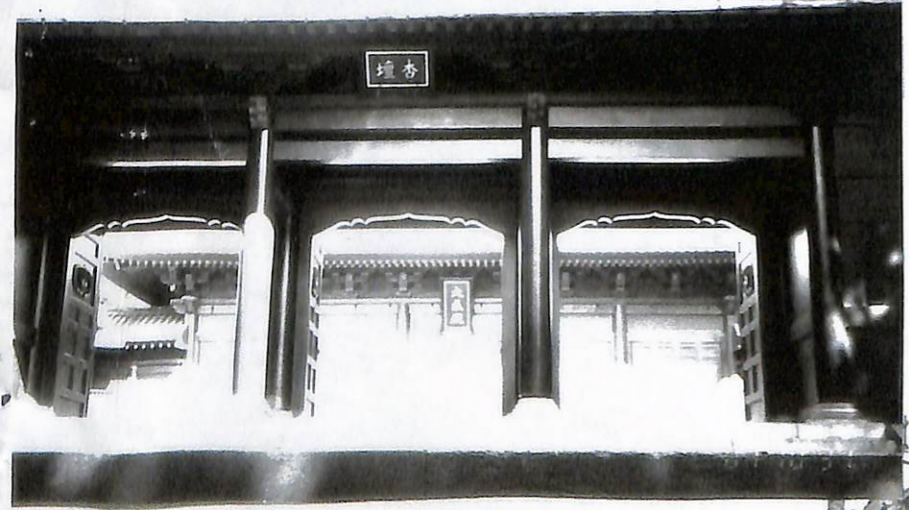
19) 大久保彦左衛門屋敷跡

- ①神田駿河台は旗本たちの屋敷地。天下のご意見番彦左が住んで、一心多助が駆けつけた。
- ②大久保彦左衛門=家康、秀忠、家光期の旗本。17才で初陣以後、数々の戦役に出陣、大坂の陣の大いに万石の沙汰を受けるが固辞した。三河以来の譜代旗本気質の代表。2千石。旗奉行。
- ③「子どもたち心して聞け」にはじまる家訓「三河物語」を著す。

20) 御茶の水

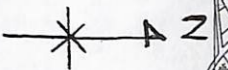
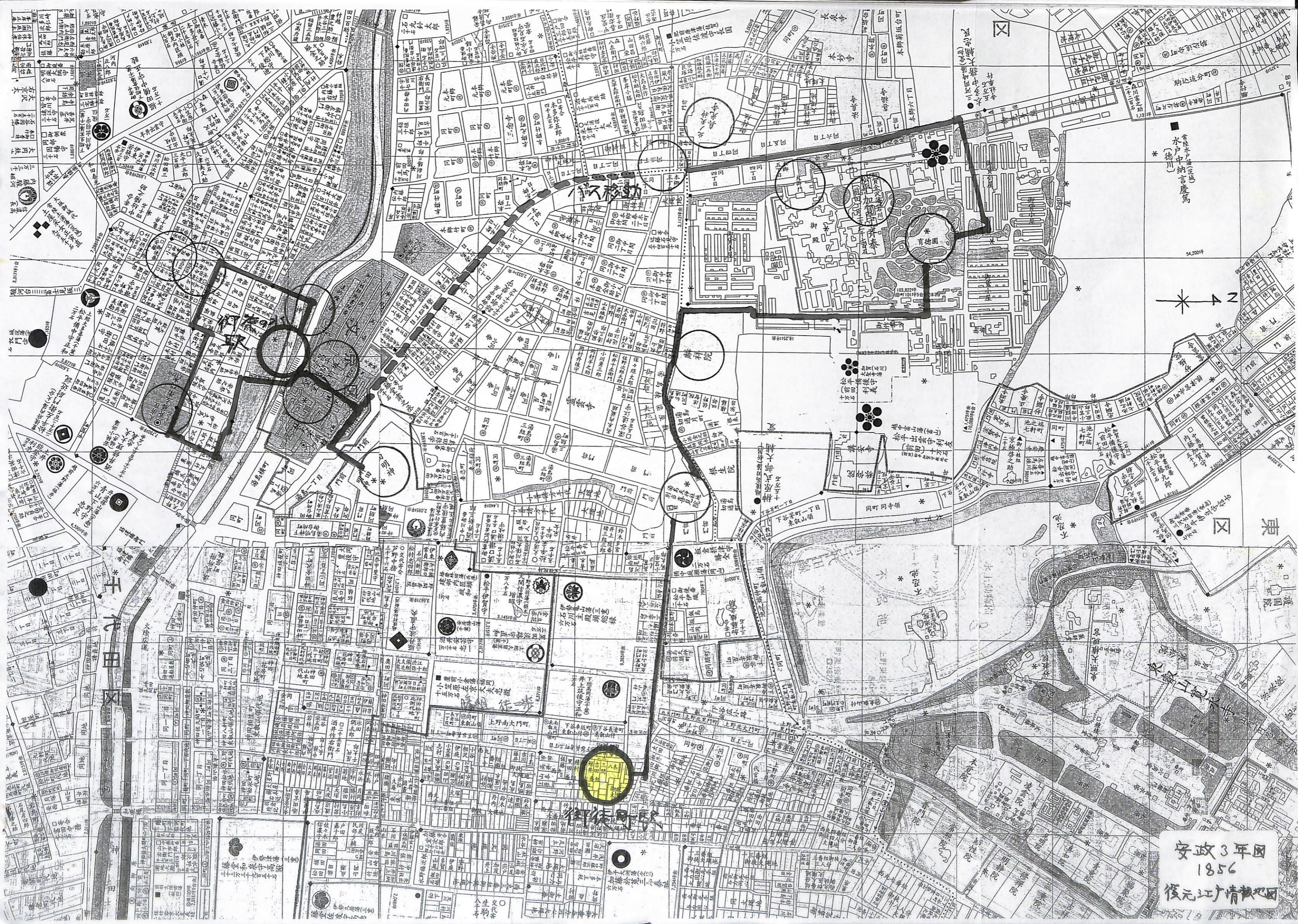
- ①御茶の水碑=秀忠にも献上された御茶の水跡。江戸時代はじめ順天堂病院あたりにあった高林寺のわき水を将軍に献上したので御茶の水の地名が生まれた。寛永12年の江戸城総構え工事で枯渇、高林寺も明暦の大火後向丘に移転した。名井もいま水道がしたたる。
- ②御茶の水橋=明治24年竣工。不便は堅固、外堀には水道橋から昌平橋まで橋はなかった。
- ③江戸城外堀跡=聖橋とお茶の水橋から家光が築いた総構え外堀を望む。駅舎と中央線が走る。

次回は第9回(1月2日) 皇居一般参賀と明治神宮初詣(自由参加) 予告編を参照ください。



ニコライ堂 →





安政3年図
1856
復元江戸清観地図

大森

御徒町

水戸中納言屋敷
(徳川)

東

千代田

伊予守屋敷
三十三番五丁

伊予守屋敷
三十三番五丁

城と史蹟を歩く会**第8回「湯島、本郷を歩く」

平成13年12月11日(火曜日) =参加30名

主要見学箇所=下谷広小路上野戦争激戦地跡、湯島天神、隣祥院、加賀前田藩上屋敷跡、育徳園心字池、御守殿門、別れの橋跡、かねやす、神田明神、湯島聖堂、昌平坂学問所跡、ニコライ堂、大久保彦左衛門屋敷跡、御茶の水碑、江戸城外堀跡

連絡事項=①第9回(1月2日=予告編参照)自由参加ですが参加者は少ない見込みです。雨天中止の連絡のため今回に限り参加者は山岸または世話人へ連絡ください。

②折角のアルバムが見にくいとのご指摘が多く、第10回からカラーコピーにします。+100円(夫妻のとき1名分)になります。

城と史蹟を歩く会=市原市八幡北町2-12-12-501

山岸弘明 ☎42-2237



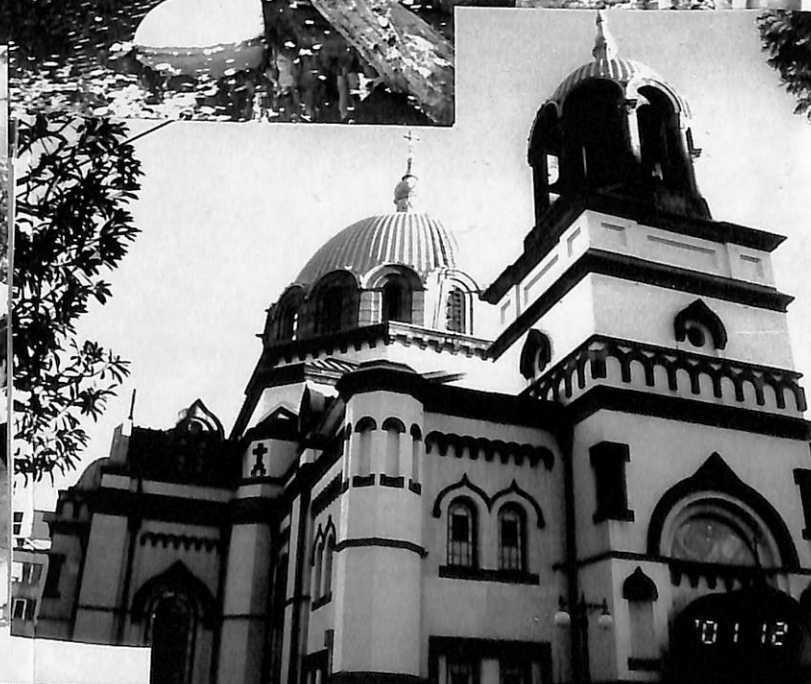
↑東大キャンパス ↓茶臼 ↑前田野育徳園

ALBUM

案内=山岸、撮影=国分



←下谷広小路激戦地



↑隣祥院 ↓湯島聖堂 →ニコライ堂



↑湯島天神 →神田明神

